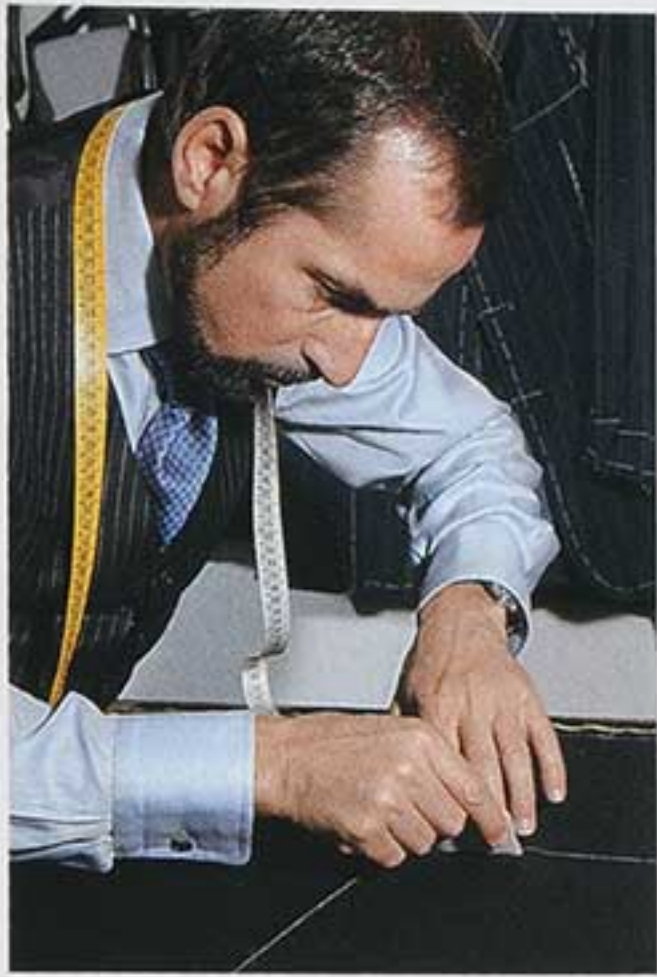


## アロイジオさんの仕事ぶり



毎日10時間以上働き、  
ほぼ毎週パリに飛ぶ

繊細な仕事を持ち味。採寸  
した後、型紙を作り、丁寧に  
差し込み作業が行われる。  
裁断は、スピーディだ。ス  
ーツの製作時間は約70時間。  
仮縫いは初めての人の場合、  
最低2回行う。

## “土地柄”はココ!

スパッキに合わせ、  
折り目を入れる。

ウエストのラインを強調  
するため、深く切り込ん  
だスパッキ(ベンツ)を採用  
する。スパッキの端に  
合わせて、生地折り目  
を入れるのがアロイジオ  
流。肩からウエスト、そ  
してスパッキまでの流れ  
を美しく表現する印だ。



**Gaetano Aloisio**  
ガエターノ・アロイジオ

1963年カラブリア生まれ。22歳でイタリアの  
最優秀サルトに贈られるフォルビチ・ドーロ  
賞を受賞。1998年パリにもアトリエを開設。

Roma

ボルゲーゼ公園にほど近い、アントネッリ通りに  
ガエターノ・アロイジオ氏のアトリエは佇む。  
扉を開けるとまず、現代アートが目に入る。  
クライアントを迎える明るいサロンのほか、  
仕事場となるアトリエは、3つに分かれている。  
静かな環境のなか、16人の職人たちが日夜針を動かす。

## ダル クオーレさんの仕事ぶり



柔らかい仕立てが  
快適着心地を生む

芯地、肩パッドを使わな  
いのがダルクオーレ流。自  
身が着るスーツには、ほと  
んどアイロンを掛けない  
という。身体に馴染み、程  
よく着込んだスタイルの柔  
らかいスーツを作り出す。

## “土地柄”はココ!

ストラップパート  
ダ・ボットーネ

マニカ・カミーチャだけ  
ではない。ダルクオー  
レ氏が着たダブル6つ  
ボタンのスーツは、一  
番上のボタンからジャ  
ケットの合わせを引き  
ちぎったイメージの「  
ストラップパート・ダ  
・ボットーネ」のデザ  
インを表現する。



**Luigi dal Cuore**  
ルイジ・ダルクオーレ

1945年ナポリ生まれ。国内外に多くの顧客を  
持つ。ナポリを離れて年十数回ほど、国内や  
スペイン、東京などで採寸や仮縫いも行う。

Napoli

ナポリ湾を見渡すウィットトリア広場に面した建物に、  
サルトリアダルクオーレがある。  
アトリエは、ナポリの喧嘩から逃れられる静かな空間。  
入口やサロンには、国際的な画家レナート・バリザーニが描いた  
数多くの抽象画が並ぶ。  
絵画に囲まれながら、日曜日にも仕事を続ける。

ご二人のトランクショーをRAFFINERIA東京にて開催。  
3月6日ガエターノ・アロイジオ、4月9日・10日ルイジ・ダルクオーレ。